

(NPO法人 SFD21JAPAN)

立ち止まり対話するための助成金「AKBN（アケボノ）ファンド」
助成事業報告書

本報告書の提出期限は【 4月30日（火） 】となっています。
報告書は提出後、アカツキ Web サイトにて公開致します。

1. 振り返りエッセイ

AKBN ファンドを活用した「立ち止まり対話する」取り組みについて、
いつ何を行ったか・どのようなことが起きたか・メンバーの誰がどう
発言したか等について、公開できる範囲で自由な形式にて作文してください。
イメージとしては、「エッセイ」のように考えて頂ければと思います。

- 枠の大きさは規定のものから変更せず、その中に収まる分量でお願いします。
- 必ず、アカツキ同席の「ふりかえり評価」の後に作成してください

NPO 法人化して 11 年が過ぎ、活動の幅が広がり当法人に対する評価が上がって
いく中で、会計や法務・労務などの基盤部分の未熟さは置き去りにされてい
る状況でした。事務局に業務が集中していたことが主な要因でしたが、それは
メンバーの一人一人がお互いの立場や役割を尊重・信頼して活動していた結果
だったと思います。実は事務局的には AKBN ファンドはすごく気になっていた助
成金でしたが、多忙な毎日に会計などの事務関係の話し合いの時間をメンバー
に課すのは気が引けていました。しかし余計な心配でした。話し合いを重ねる
につれてメンバーの個性や才能が発揮されていきました。まず当法人の現状を
共有し解決策を考え、勘定項目の設定から会計ソフトの活用まで皆で進めてい
きました。会計部門に疎く“貸方”“借方”から本で学んだ者、会計処理の経験
がありながら「でしゃばらない」と思っていた者、もっと手伝いたかったけど
一歩を踏み出せなかった者、AKBN ファンドをきっかけにメンバーが少しずつ変
わることができたのだと思います。

雪松さん、白神さん、末松税理士の立場と経験から会計以外にも多くのアド
バイスを頂き、運営や体制づくりの参考になりました。NPO 法人としての会計を
含む基盤を強化したことで自信につながり、新年度は今まで挑戦したことのない
分野への取り組みも行う予定です。AKBN ファンドを通して、活動の様々につ
いて話し合いのような「くっちゃべり」がより増えましたので、今後も皆でく
っちゃべりながら支え合っていきたいと思います。

2. 支出報告書

■領収書ほか会計証憑書類の添付、当初予算からの残額の返金は不要です。

■枠の大きさは必要に応じて増減して構いません。

■こちらは「ふりかえり評価」実施前に記入されても構いません。

決算会計報告		
種別	内容	収入金額
<input type="checkbox"/> 本助成金	AKBN ファンド 数字と向き合う	200,000
<input type="checkbox"/> その他	団体自己資金	83,980
費目	対象・使途・目的・内訳（具体的な詳細を記入）	支出金額
<input type="checkbox"/> 消耗品費	ノートパソコン（会計、事務局）	117,800
	パソコン セキュリティソフト	17,550
	パソコンサポート（5年）	97,650
	会計王ソフト（NPO 法人用）	44,000
	マウス	2,680
	キーパッド（数字入力用）	2,980
	書籍「いちばんわかりやすい はじめての経理入門」	1,320
<input type="checkbox"/> その他		
<input type="checkbox"/> 未使用残額		
合計金額		283,980

3. 助成プログラムへのフィードバック

■AKBN ファンドに対する評価・疑問・要望・期待等を記載ください。

費目の割合の制限がなく、本当に必要な費目に使用できるのは大変ありがたいです。消耗品の中についても10万以上は購入前に見積りや裏付け資料の提出を求められることがあります。その部分を信用して省いて頂ける等の事務処理削減への配慮は唯一無二の助成金だと思います。当法人的にはもう少し話し合いの回数があれば…と感じましたが、アカツキ様の伴走事業が充実しており AKBN ファンド後にフォローして頂き会計以外の部門も見直すことができました。